

# Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.12  
2023.3

仙台白百合女子大学後援会



## Contents

- |   |                 |   |                |
|---|-----------------|---|----------------|
| 2 | 学長挨拶<br>後援会会長挨拶 | 5 | 大学からの報告        |
| 3 | 部会活動報告          | 6 | 2023年度 行事予定    |
| 4 | 事業活動報告<br>奨学支援  |   | 2022年度 理事名簿 など |
|   |                 |   | 編集後記           |



## 学長挨拶

仙台白百合女子大学 学長 矢口 洋生



仙台白百合女子大学の運営に際して、後援会の皆様の物心にわたる御支援にあつく感謝申し上げます。コロナ禍によって感染者数が増えたり減ったりの日々が続き、学生ならびにご家族の皆様もその対応に追われたことと思います。大学でも少なからず感染者が出ましたが、幸運なことに授業を全学的に停止するような事態は起こらずにすんでいます。

人間学部の新たな動きですが、2023年度から人間発達学科が子ども教育学科に替わります。これによって、中学校の教免が取れることになりました。これまで小中学校教免は取得できたのですが、中学校教免と併せ持つことによって教員採用のチャンスが広がるという事情もあってこのような改組を行いました。それによって、教育に特化した新たな専門課程が出来上がり、大いに期待が寄せられます。

ポスト・コロナが予見されるようになって行動制限が緩やかになり、それに伴って本学の国際交流も再開されました。留学や海外研修の機会が制限され、学生たちの貴重な学びの機会が奪われる状態が続いたのですが、2023年度は本学の強みであるグローバル力に結びつく教育が再開できるものと期待しています。最近、韓国の大学が興味深いプログラムを提供してくれるので、相変わらず学生の人気は高いものとなっています。

コロナの副産物なのかもしれませんが、対面によらないオンライン授業の可能性が今後は広がるものと予想さ

れます。カトリック大学・短大連盟では、上智大学が提供する宗教科教免を取得するための授業を地方サテライト会場にて提供することを構想しています。本学はホスト校になる予定なので、関連授業を学内にてオンラインで受講できるようになります。加えて、キリスト教学や人間学の分野においても授業を相互乗り入れする可能性があります。例えば、上智大学の授業を本学あるいは自宅から受けられるようになるかもしれません。そのような仕組みができあがれば、将来は、海外の大学の授業を本学で受講することも可能になるでしょう。

テクノロジーの進歩に対応するために、最近の学生たちは常に新ツールを使いこなせるようになることが要求されます。本学でもその一助となる教育展開を用意しています。具体的には「数理・データサイエンス・AI教育」の授業を2024年に設置する予定です。既存の情報系授業がさらにパワーアップされると考えています。

学生にとって魅力のあるプログラム、皆さんに喜ばれる教育内容と教育サービスを提供することを願っております。後援会の皆様のご支援とご意見が、学生たちにとっても、本学教職員にとって何よりもの励みとなります。今後も本学に関心を寄せていただけますようお願い申し上げます。

## 後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長 関 陽一



仙台白百合女子大学学生、保証人の皆様におかれましては、コロナ禍の後援会活動に対し、変わらぬご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

2020年1月16日に新型コロナウイルス感染症が日本国内で初めて確認されてから、早や3年が経過し、度重なる災害や、急激な円安、物価の高騰なども重なり厳しい状況が続いております。

このような状況の中、昨年末にカタールで開催されたワールドカップでは、日本代表が世界の強豪国を相手に堂々たる戦いを行い、若者たちが明るい話題を提供し日本中を熱狂させてくれました。今年も、3月にはワールドベースボールクラシック、その後にはなでしこジャパンやラグビーのワールドカップが開催されますので、日本代表チームの活躍を期待したいと思います。

さて、仙台白百合女子大学後援会ですが、東日本大震災が発生した2011年秋に発足し、復興の歩みと共に11年が経過致しました。保証人の皆様と大学教職員が一体となり、学生の皆さんが充実した明るい学生生活を送れるようサポートすることが本会の使命・役割であると考えております。

昨年6月には会場、講演など全体を縮小し、総会を開

催致しました。オンラインを含む多くの保証人の方々にご出席を頂き、すべての議案を承認していただきました。

また、一日のみの縮小での開催ではありましたが、10月には2年続けて中止となっていた「白百合祭」に3年振りに参加することができました。一昨年には大学生協さんの協力を頂き「学生応援100円食堂」を実施いたしました。

今後も、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら学生支援を中心に「学生生活の向上」に繋がる様々な活動を展開してまいります。

最後になりますが、お嬢様のご卒業を迎えた保証人の皆様、心よりお祝いを申し上げます。

また、コロナ禍での大学生活を経験した4年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。社会人としてのご活躍をお祈り申し上げます。

仙台白百合女子大学後援会は、保証人会員と大学教職員が一致協力し、学生達を応援し続けます。これからもご理解とご協力、また、積極的にご参加頂きます様よろしくようお願い申し上げます。

# 部会活動報告

## 第12回後援会総会報告

2022年度後援会総会は、2022年6月18日（土）に開催いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響により対面およびオンライン（Zoom）での併用開催いたしました。

大きなトラブルもなく無事に終了することができました。

審議事項は2021年度事業報告、収支報告、監査報告、2022年度事業計画、収支予算、理事選出の議題についてすべてにおいて原案通りご承認いただくことができました。

また、前学長・人間発達学科教授牛渡淳による「深くいきるーカトリック大学で学ぶことー」をテーマにした講演会を開催いたしました。

感染対策をしたうえで、健康栄養学科考案のメニューでランチも提供することができました。改めての会員の皆さま、理事の皆様へ感謝申し上げます。引き続き後援会活動にご理解とご協力くださいますようお願い申し上げます。

（大学連携部会 堀籠 未来）

## 広報部会活動報告

広報部会は後援会会報「Shirayuri」の発刊を主に活動しています。1年に1回発刊し会員の皆様にお届けしております。今年度で12号となりました。大学と連携し各部会の活動報告や3年振りに開催された白百合祭の学生の方々の様子など掲載することができました。

表紙の写真は、これまでスタンドグラスや鐘、構内の風景など白百合女子大学の特徴を表したものです。「Shirayuri」を通して会員の皆様には白百合女子大学らしさを感じて頂けるような紙面作りを目指しております。コロナ禍にて対面とZoomの併用など部内の意見交換など思うようにできませんでしたが、大学側の支えのもと円滑に活動することができました。寄稿頂いた理事会の方々、学生の方々、大学の方々、ご協力頂いた方々に感謝致します。

（広報部会 星 富美恵）

## 大学連携部会活動報告

大学連携部会では、「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」の各支援事業を通じ、学生に対する支援活動を行っております。

「奨学支援」では、後援会からの援助金として大学に振込、大学奨学金と一体運用し、①経済的困難学生支援②東日本大震災授業料免除支援③学生奨励賞支援を行いました。

「課外活動支援」では、3年ぶりに白百合祭を実施し、支援を行いました。

「キャリア支援」では、①公務員試験対策講座②履歴書証明写真撮影③SPI試験対策講座の一部の支援を行い、各学科の授業活動の支援を行いました。

コロナ禍ではありますが、学生達の今しかない学校生活を有意義に過ごせるように、これからも部会と大学側との連携を深め、学生の支援を行ってまいります。

学生の親としての一筆をご容赦頂けるならば、先ず娘が4年間大変楽しく有意義な学生生活を過ごさせて頂きましたことを、全ての職員の皆さまに心から御礼申し上げます。2年生の頃には、コロナ禍で大学に通えない状況などもありましたが、職員の皆さまの情熱的な感染症対策の取り組みにより、他大学よりも早く対面での授業の再開、また学生の海外留学の実現もしていただきました。オンライン授業でも先生方の様々な工夫により充実した授業を受けることが出来たようです。矢口学長の「学ぶなら絶対に白百合です」というお言葉を想起させるが如く、そうした学生に寄り添った数々のご尽力に改めて感謝申し上げますと共に、今後ますます仙台白百合女子大学が発展されますよう心よりお祈り申し上げます。

（大学連携部会 廣瀬 純）

## 事業部会活動報告

日頃より後援会会員の皆さまには、活動へのご理解ご協力を賜り、感謝申し上げます。2022年度事業部会の活動につきまして、ご報告させていただきます。

### 活動項目

1. AEDの継続設置支援
2. ウェルカムフェスティバル支援
3. 講演会の開催
4. 白百合祭開催支援
5. 卒業記念品選定・購入

### 活動内容

- 1) AEDの継続設置支援
  - ・学内AED機器の継続設置にあたり、経費の負担を実施
- 2) ウェルカムフェスティバル支援
  - ・新入生を歓迎するウェルカムフェスティバル開催にあたり、経費の支援を実施
- 3) 講演会の開催
  - ・開催日：2022年6月18日（土）
  - ・時 間：11：00～12：00（2022年度後援会総会終了後）
  - ・場 所：本学1号館2階教室（オンラインによる同時配信実施）
  - ・講演者：牛渡 淳（うしわた じゅん）教授  
（仙台白百合女子大学 人間発達学科教授・前学長）
  - ・演 題：「深く生きるーカトリック大学で学ぶことー」
  - \*本講演では「深く生きる」をテーマに、生活を生きる！人生を生きる！を切り口に捉え、そこから分かりやすい事例を交えながら、本学で学んで頂きたい教養の概念を講演して頂きました。講演のくだりに、「あなたの子は、あなたの子ではありません。（中略）あなたを通してやってきますが、あなたからではなく、あなたと一緒にいますが、それでいてあなたの子ではないのです。」が、あります。血の繋がりと子供への愛情を肯定しながらも、子には子の考えがあり、それを尊重する事は大切な事。個人の感想ですが、日々に忙殺され、つい忘れていた事を思い出させてくれる新鮮な表現でした。今回はYouTubuでの配信（再生時間 約50分）もあります。講演を見逃された方は是非、ご覧になってはいかがでしょうか。  
（YouTube 検索：仙台白百合女子大学 講演会）
- 4) 白百合祭開催支援
  - ・三年振りの開催となる白百合祭を盛り上げるべく、後援会理事会も出店。伝統!?のチャーハンを来場者に提供でき、また、理事会内でもその伝統を承継することが出来ました。
  - \*ご承知の様なコロナ禍で、特にイベント事では閉塞感・虚脱感が大きく漂う昨今。いつ中止を宣告されてもおかしくない怖さ!?と、正面から向き合いながら、半年にも及ぶ準備を重ねられた学祭実行委員長の齋藤さんを始めとする実行委員会の皆さんの、熱意と努力に大きな拍手を送りたいと思います。お疲れ様でした、そして学祭の伝統を繋ぎ、学内外の方々に楽しいひと時をありがとう。
- 5) 卒業記念品の選定・購入
  - ・記念品については、2月の後援会理事会で最終決定（候補は袱紗・印鑑ケース等）

（事業部会 青木 豊）

# 事業活動報告

## 白百合祭に参加して



2022年10月22日(土)に第55回白百合祭が開催されました。コロナ禍ということもあり、今年度は一日のみの白百合祭でしたが『Reproduction～再生～』をテーマに、3年ぶりに白百合祭を開催することが出来ました。

後援会からは例年通り、炒飯と飲み物の模擬店を出店させて頂きました。ネギ油香る炒飯は『とても美味しい!』と好評で、無事完売することが出来ました。

お忙しい中、準備から当日の運営まで携わって頂いた皆様、ありがとうございます。これからもネギ油香る炒飯と飲み物の販売を継承して頂ければ幸いです。

他の出店を見る時間を多くとることは出来ませんでしたが、学生の工夫が様々な所で見られ、この白百合祭の為に時間をかけて準備を行ってきたのが伝わり、無事に開催できたことを嬉しく思います。

ご協力頂いた先生方や事務の方々、理事の皆様ありがとうございます。皆様に感謝申し上げます。

(事業部会 小山 裕子)



## 白百合祭御礼

10月22日(土)に3年ぶり第55回白百合祭が開催されました。今年度は1日のみの開催ではありませんでしたが782名という非常に多くの方々にご来場いただきました。



今年度の白百合祭は、抽選会や中庭企画、四千頭身さんと「ねおちゃん」のスペシャルお笑い&トークショーなど、様々な企画をご用意させていただきました。感染症対策を徹底し、ご来場のお客様をはじめ本学学生にも楽しい時間を過ごしていただけたことと思います。

3年ぶりの開催ということで、私を含め委員全員が白百合祭を経験したことがありませんでした。しかし、白百合祭実行委員長として、「大学祭」という大きな行事を、仲間と共に企画・実行し、滞りなく無事に開催できたことは、後援会、地域の皆様、企業の皆様、大学の方々等、多くの支えがあったからだ改めて実感いたします。

最後になりましたが、後援会の皆様方には白百合祭開催にあたり、多大なるご支援、ご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。今後とも私たち学生へのご支援くださいますようお願いいたします。

(白百合祭実行委員長 齋藤 ひな)



## 奨学支援

### 補助金事業の御礼

後援会の皆様、日頃より私たち学生に温かいご支援をいただき、ありがとうございます。今年度、私は中国語検定4級を受験いたしました。

私は大学生になってから中国語を学び始めたため、中国語検定の合格は高い壁に感じていました。4級の合格者が毎年数少ないと伺っていたこともあり、より試験対策に力を入れて取り組みました。大学で借りた過去問題集だけでなく、他にも様々な試験対策本を手し、見事4級を合格することができました。嬉しいことに、私が受講している中国語のクラスでは、多くの学生が4級を受験し合格していました。皆で喜びを分かち合い、健闘を讃え合いました。

このように、多くの学生が検定の受験に挑戦できたのは、後援会のご支援があったおかげです。近年、日本は着実にグローバル化に進んでいます。言語の習得と、それに伴う資格取得は必ず将来の財産となります。そのため、受験に際し、ご援助いただけたことは大変ありがたく思っております。

改めて御礼申し上げるとともに、今後とも奨学奨励金補助をよろしくお願いいたします。

(グローバル・スタディーズ学科 佐々木 穂佳)

### 補助金事業の御礼

日頃より、私達の教育環境の整備充実にお力をお注いでくださることに御礼申し上げます。

つきましては、今年のウェルカムフェスティバル、文化祭、そしてクリスマス会に補助金をいただいたこと大変感謝しております。

4月という大学入学から間もない時期の中で、どのようにしていくべきかという不安を抱いていた新入生としての自分のこれからの生き方について新しい楽しみや、充実感のある時間を持つことができました。また、文化祭やクリスマス会におきましても、コロナ禍で、楽しみの殆どがなくなってしまった高校時代を過ごさざるを得なかった私達にとっても、より良い時間などを過ごす良い機会になり、これからの生活に対する原動力とすることができました。

最後になりますが、このような貴重な機会にご支援くださった後援会の皆様、ご指導くださった先生方には深く御礼申し上げます。今後とも未来ある後輩の皆様方のこれからのためにも、ご支援賜りますようよろしくお願い致します。

(心理福祉学科 田中 博子)

## 国家試験対策補助金の御礼

私たちは、管理栄養士の資格取得に向けて、約1年間試験勉強をしてきました。国家試験対策として、数回にわたりSGS総合栄養学院の方から対策講座をしていただきました。これまで学んできたことを総合的に、かつ国家試験に類出している問題を重点的に復習しました。各分野の重要な部分の講義を聞いた後、実際に問題を解くことで定着させていくことができました。また、講義だけでなく、これから試験勉強でやるべきことや、模試や過去問をどれくらい解いたら良いかというアドバイスもいただき、私自身勉強方法を見直すきっかけになりました。モチベーションがあがった学生もいたのではないかと思います。

最後になりますが、対策講座受講の支援をしていただきました後援会の皆様に感謝申し上げます。管理栄養士の資格を取得し、社会に貢献できるよう頑張りたいと思います。試験まで残りわずかですが、合格に向けてより一層勉強に力を入れていきたいと思っています。また、管理栄養士を目指す私たちの後輩のためにも、今後ご支援くださいますよう、よろしく願いいたします。

(健康栄養学科 高橋 さくら)

## 大学からの報告

### 学生支援報告

今年度も後援会から奨学金援助金をご支援いただき、大学奨学金と一体運用し、経済的困難学生支援および東日本大震災授業料減免支援を行うことができました。改めてご支援いただきましたことに感謝申し上げます。

東日本大震災授業料減免支援につきましては、今年度を以って最後となり、来年度以降は経済的困難学生支援を大学奨学金と一体運用して継続して行うために、引き続き後援会からの奨学金援助金のご支援を賜りたく、よろしく願い申し上げます。

また、今年度は新型コロナウイルス感染状況を勘案しながら、ウェルカム・フェスティバル、浴衣ディ、白百合祭のイベントも3年ぶりに実施できましたこと、大変良かったと思います。学生の皆様の大変明るく元気な表情を感じたことも大変嬉しく思います。

今後も学生が積極的に取り組む企画を準備していきたいと思いますので、後援会の皆様のご協力もお願い申し上げます。

(事務局長 志田 昌幸)

## ピアノコンサートの開催ご支援への感謝

後援会の皆さま、日頃より私たち学生へのご支援をいただき、ありがとうございます。

この度は、文京華さんのクラシックピアノコンサート開催にあたりご援助いただき、誠にありがとうございます。様々な曲をプロのピアニストの演奏で聴くという貴重な体験をさせていただきました。ピアノ演奏の他にも、曲ができた頃の時代背景や作曲家の人物像などのお話もあり、よりピアノ曲に関する知識を深めることができました。演奏曲の中には私たちが授業で弾くことのある曲もあり、指の運び方や曲の表現の仕方を実際に肌で感じて学ぶことができました。

私はゼミの活動の中で楽器の演奏法について学んでいます。今回、体全体を使いながら楽しそうに演奏する文さんの姿を見て、聴く人の心に届く演奏をするには、まず自分自身が楽しむことが大切なのだと改めて気付くことができました。これから、楽しんで演奏できるよう、私も曲にしっかりと向き合っていきたいです。



改めて、文京華さんのピアノコンサート開催にあたりご援助いただいたことに、心より感謝申し上げます。

(人間発達学科 中澤 美結)

### キャリア支援報告

今年度のキャリア支援で実施した件について報告をいたします。

- ①公務員試験対策講座：公務員受験を目指す学生のためにオンラインでの講座を実施しました。全学科の1年～3年を対象とし、22年8月20日～23年3月31日の視聴期間で、入門講座(14コマ)と基本講座(29コマ)の2講座を開講しました。受講者24名
- ②履歴書用証明写真撮影：プロのカメラマンとメイクスタッフによる就職活動で使用する証明写真の撮影を学内にて実施しました。参加者105名
- ③SPI試験対策講座：企業の就職試験や最近では公務員試験でも用いられることが多いSPI試験の対策講座を3月27日～29日に実施いたします。昨年度はオンラインでの実施でしたが、今年度は対面で実施いたします。

(キャリアリソース課長 佐藤 啓朗)

